

## 私の初夢

会員 谷内 繁さんの初夢です

会員のみなさま、あけましておめでとうございます。

新型コロナは、6度もの変異を重ねた結果、世界規模の感染者数や死者数に拡大し、社会経済活動に悪い影響を及ぼした2年間でした。

さて、令和4年新春の初夢、皆様にはどのような内容でしたでしょうか。

私の初夢、そのあらすじを紹介したいと思います。

「・・・本日、ここに悲願の『馬上のクラーク像』除幕の日を迎えられたことは、万感こもごもの至りであります。顧みますれば平成27年9月に、像建立促進会を立ち上げてから今日まで8年。その間、会員皆様はもとより、市民の多くの皆様から事業の趣意にご賛同をいただきながら推進しての賜物、本当に有難うございました。

特に一般会員からは、市外、道外そして海外からも賛意を得られるなど、本当に嬉しい限りでありました。

しかしながら、ご覧のとおり『馬上のクラーク像』は聖堂のレリーフにより誕生しています。立体像からの変更は苦渋の選択ではありましたが、基金その他の諸般の事情から会員の多くの賛意を基に変更した結果であります。

石材に組み込まれた青銅の素材は、可能な限り厚物を準備、深みのある掘り(レリーフ)は立体像での表現を補い、さらに見送りの人馬を多数加えることが出来た事は幸いでした。加えて裏面には、事業発足時からの建立活動の足跡を刻み込むことも出来ました。

この変更によって会員一同の熱意と理念は、今後も決して変わるものでないと思います。

一足早く開業した『世界がまだ見ぬボールパーク』が娯楽の殿堂に、併せてここに完成したクラーク博士のシンボルが、北広島市の観光資源として大きく寄与することでしょう・・・」

以上は会長式辞の骨子です。まだ紅葉美しく残る島松沢の地、文化の日に举行された除幕式。参列者の一員として身を置きながら、式辞の節々において鳴り渡る大きな拍手と、こだまする歓声について目を覚めてしまった次第です。

(注釈: 架空式典は2023(令和5)年11月3日)



### 編集後記

23年世界に一つしかないボールパークの完成が待ち遠しい。

それにましてクラーク博士馬上像の完成を夢見て8年間、正夢になることを願っている毎日です。

広報担当  
檜皮 義博



今年もよろしくお願ひします  
令和4年 元旦

(有) 安 寿 真  
代表取締役 東 隆史  
061-1123  
北広島市朝日町1-4-7  
電話 011-372-0123